



みんなで「ヨモギだんご」づくり

5月8日(木)、上ノ国保育所のくま組・とら組の子どもたちがよもぎだんごを作りました。すり鉢とすりこぎを使ってよもぎをすりつぶす工程では、みんなで交代しながら、一生懸命力をこめてすりこぎを動かしていました。すりつぶしたよもぎと生地を練り合わせ、丸める工程では、一回りサイズに丸めるのに苦戦しつつも、「きれいにできたよ!」とみんなまるのおだんごを、先生やお友達に見せながら楽しく作業していました。作ったよもぎだんごはおやつ時間に振る舞われ、おかわりをねうだる子どもたちの声があちこちから聞こえてきました。



よりよい町づくりを目指して マチ×ヒト協働まちづくり会議

5月8日(木)、上ノ国高校で「マチ×ヒト協働みらい会議」が開催されました。このイベントは、上ノ国高校の生徒をはじめ、役場職員や地域の方々が参加しました。町の活性化起業人の北名さんなど多くが行われました。



『檜山の森づくり植樹祭 inかみのくに』開催!!

5月13日(火)に北村地区で『檜山の森づくり植樹祭』が行われました。

河北小学校の児童たちが所属する「緑の少年団」をはじめ、町民の方や関係者約120人が参加し、ヒノキアスナロ150本、ブナ150本、計300本を植樹しました。指導林家の菊地時男さんと檜山振興局の横山透さんの指導のもと、参加者は元気に植樹を行いました。

工藤町長は、「二酸化炭素削減のため、小さなことかもしれないが、一人ひとり行動することが、自然に貢献することになる」と語っていました。

5月15日(木)、札幌市で一般社法人全日本司厨士協会北海道地方本部(大江廣嗣会長)の懇親会が行われ、町内の農水産物をPRしました。これは、町内で生産される農水産物をホテル・飲食店などへ直接売り込むための取り組みです。提供された食事の一部に町内産のアスパラガスやサクラマスなどが使用されたほか、上ノ国ワインの試飲や当日に水揚げされた活エビなどの展示も行われました。

木村侑さんは、「出席者が、提供したものに興味を持つていて、提供M.O.R.I.F.A.R.エンジニアリングが高いよう感じました」と話していました。

司厨士協会北海道本部懇親会で 町内食材の魅力発信!!

